



# 三の丸だより

AUTUMN

## 市街地広報

発行所  
自衛隊茨城地方協力本部  
募集課広報班  
水戸市三の丸3丁目11番9  
TEL(029)231-3315

自衛隊茨城地方協力本部（本部長 貞方1陸佐）は、8月31日（水）、JR水戸駅周辺において「市街地広報」を実施しました。

新学期を目前に控えた中学・高校生を始め、自衛隊に関心を持つ大学生や社会人も多数訪れ、広報ブースにてVR体験やタペストリーの展示を通じて多くの方々に自衛隊をアピール。学生にとって夏休みの最終日という貴重な時間の中で、訪れた方々は皆広報官の話に真剣に耳を傾けていました。

また、水戸駅南口には、茨城県水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」が応援に駆けつけ、自衛隊の広報活動を大いに盛り上げてくれました！

茨城地本は、今後も市街地広報等をはじめとした広報活動を通して、積極的に志願者の獲得に努めています！



## 採用試験 シーズン到来



9月16日（金）の一般曹候補生試験を皮切りに、令和4年度の本格的な採用試験シーズンに突入しました！

試験会場は、勝田、霞ヶ浦などの県内陸上自衛隊駐屯地のほか、水戸合同庁舎や県内のホテルなど使用。多くの受験者は、緊張した面持ちで、受付開始時間前に到着し、試験に対する熱い気持ちが伝わってきました。口述試験では、「災害派遣に携わる自衛隊の活動をみて志願しました」「運動が得意なので、活かしたい」など、熱意ある志望動機を答えていました。

茨城地本は、今後も自衛官という職業を職業選択肢の一つとしてもらえるよう受験者への進路サポートに積極的に取り組んで参ります！

## 帰郷報告

8月5日（金）、茨城県出身で今春防衛大学校へ入校した1年生5名が県庁を訪問し、大井川知事に帰郷報告を実施しました。

学生は夏季休暇に伴う茨城県への帰省に合わせて県知事のもとを訪れたもので、この帰郷報告は平成25年度から毎年行われています。

5名は、知事との懇談において学校での生活の様子や将来の目標について熱く語り、県知事からは、「引き続き学校生活を頑張ってください」という激励の言葉をいただきました。



『自衛官候補生』は、  
年間を通じて受付けております。  
みなさんのご応募お待ちしています！



# 新しい世界の扉が開いた！海上自衛隊ツアー



9月9日（金）、海上自衛隊下総航空基地において女性自衛官限定の見学会を実施しました。インターネット公募による初の試みの見学会には、海上自衛隊カレーを一度喫食してみたいと応募した参加者もあり、期待に胸を膨らませて見学を開始。

基地の成り立ちや各部隊の概要について説明を受けた後、P-3C哨戒機及び救難消防車を見学。大迫力の車両に圧倒され高揚した面持ちのまま見学者が向かったのはお待ちかねの隊員食堂。柔らかく煮込まれた牛肉が絶品の海自カレーに舌鼓を打っていました。



午後はフライトシミュレーター体験や航空機のエンジン整備の現場に足を運び、隊員による仕事内容等についての説明に熱心に耳を傾けていました。参加者からは「今まで全く知らなかった世界を垣間見ることができて、世界が広がった気がしました。」「就職先の選択肢の一つとして、新たに海上自衛隊を考えるようになりました。」との嬉しい感想が寄せられました。

## 合同企業説明会



7月25日（月）、土浦市内において一般財団法人自衛隊援護協会東京支部主催の茨城県任期制隊員合同企業説明会を担任しました。

本説明会は、再就職を希望する任期満了退職予定隊員の円滑な再就職準備のために毎年実施されており、本年は茨城県内で再就職を希望する隊員34名（陸上24名、航空9名、海上1名）、県内の優良企業66社が参加しました。本年度もコロナ禍の中、感染防止対策（マスク、消毒、ソーシャルディスタンス及びアクリル衝立等）を講じて実施。

冒頭の主催者及び本部長のあいさつに続き、整列した参加隊員によるあいさつの後、面談を開始。面談では、隊員の希望及び企業の採用ニーズのマッチングを図った指定面談が2回、隊員の視野を広げてより選択肢を増やすための自由面談が2回実施され、隊員は積極的に企業ブースを訪問し、企業担当者の説明を熱心に聞き、納得いくまで質問や自己PRに努めていました。

参加隊員からは「様々な業種・職種を知ることができた。」等の感想があった。参加企業からは「隊員さんの実直な姿勢に好印象を持った。」等の声が多く聞かれた。

また、予備自衛官等制度の普及のため、予備自衛官等ブースが設けられ、隊員及び企業に対して担当者による制度説明が行われた。



さらに、県内高校の学校関係者に対して本説明会の研修を実施し、自衛隊における任期満了退職予定隊員に対する組織的な就職援護制度についての理解に努め、茨城地本は引き続き、



隊員が希望する企業へ就職できるよう全力でサポートするとともに、企業に対して退職自衛官の有用性を更にアピールしていきます！



# 茨城地本の すごいなかまたち vol.3

三の丸だよりファンのみなさま～！へんしゅ～ちょ～ですよ～！  
なななんと！8月1日～9月30日までの間、茨城地本に航空自衛官の臨時勤務者がきました！  
へんしゅ～ちょ～が突撃インタビューしましたので、ぜひご覧あれ～！！

**【名前】** テンション高めノリノリ

**【出身】** 茨城県



**【階級】** 3等空曹

**【趣味】** 剣道、映画、  
カラオケ、スノボ

**【職種】** 警備

**【口癖】** やばっ

## ＜なぜ自衛官に？＞

幼いころから警察や消防、自衛隊といった人を守る仕事に興味があり、災害派遣で活躍する自衛隊の姿を見て感動し、母や広報官の勧めもあって入隊しました。

## ＜航空自衛隊の魅力について＞

百里基地で勤務しているので、迫力のある航空機が飛ぶ姿を間近で見ることができます！仕事も術科学校での教育が充実しており、その職種のエキスパートになることができます。また、国家公務員であるため、安定した収入と充実した福利厚生があります。有事に備え、日々規則正しい生活や自己管理、技術を磨く訓練や体力づくりを行って、隊員一人一人が国を支える大切な戦力となっています。



## ＜職種について＞

私は、「警備」という職種です。正門に立って入門者の点検、ラッパ吹奏や戦闘訓練、車両による基地内の見回りなど、入隊前に希望していた「**基地を守る仕事**」をしています。

今回、臨時勤務として茨城地本を希望した理由は、たくさんの方と触れ合い、自衛隊の魅力を伝えることが出来たらいいなと思ったからです。警備とは大きく違う業務でしたが、新鮮な気持ちで取り組むことができました。



## ＜読者へのメッセージ＞

臨時勤務で短期間ではありますが、普段経験できない仕事をさせていただきました。自衛隊は大変なこともありますが、やりがいのある仕事です！興味がある方もそうでない方もぜひ自衛隊を知ってほしいと思います！！





# 高等工科学校生徒 ぼしゅ～ちゅ～



## ◆受付期間

推薦：令和4年10月1日（土）～令和4年12月2日（金）

一般：令和4年10月1日（土）～令和5年 1月6日（金）



## ◆応募資格

推薦：中卒（見込含）17歳未満の男子かつ学校長の推薦必要

一般：中卒（見込含）17歳未満の男子

## ◆高等工科学校の概要

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信をもって対応できる自衛官となる者を養成するために、中学校卒業予定者等を対象に採用する制度です。そのため、個人の適性に応じて、幅広い教養と豊かな人間性を養い、将来陸上自衛官として大きく進展できる基礎を作ります。

## 人事往来

### 転出

#### ○募集課

3等陸佐 加藤 琢二

北富士駐屯地業務隊（北富士）へ



#### ○総務課

2等陸尉 原 章雄

教育訓練研究本部訓練評価支援隊（北千歳）へ

#### ○日立出張所

2等海尉 桐原 徹

東京業務隊（市ヶ谷）へ

#### ○百里分駐所

2等空曹 神長 信美

第7航空団（百里）へ

【以上 8月1日付】

### 転入

#### ○募集課

2等陸佐 大多和 利一

北海道補給処（島松）から

#### ○日立出張所

1等海尉 笠井 義隆

第203整備補給隊（下総）から

#### ○募集課

2等陸尉 池田 晃久

第1特殊武器防護隊（練馬）から

#### ○総務課

2等陸尉 吉野 真一郎

東部方面管制気象隊（立川）から

#### ○百里分駐所

陸曹長 野口 修三

関東補給処（霞ヶ浦）から

#### ○百里分駐所

1等空曹 白府 優一

第7航空団（百里）から



#### ○筑西地域事務所

2等陸曹 鶴田 浩二

中央即応連隊（宇都宮）から

【以上 8月1日付】

## 定年退官

#### ○県南地区援護センター

陸曹長 大場 真人

【以上 8月5日付】